

山口新聞

平成25年8月9日(金)

NO.67



④ 会員の皆さん
⑤ 定着してきたウオークラリー



琴石山の恵みと棚田を継承

やまびこ会 (柳井市)

め、重点的に
命を図るた

今後は地域環境の保全活

動を一層推進

して川の恵み

を守り、美しい棚田を次世代に残せるよう頑張りたい。

(会長、中元茂雄)

— 金曜日掲載 —

【メモ】会長 中元茂雄
▽会員 23人、農家(21戸)、大久保自治会、市消防団第4分団▽設立 2007年4月26日▽連絡先 柳井市大島234の3、中元茂雄さん ☎0820・45・2795

農地・水・環境 守ろう地域の手に

⑥7

大島地区は柳井市東部の瀬戸内海から少し離れた山あいに位置し、二つの集落の農家21戸で構成されている。急傾斜地のため、ほ場整備が難しく、小さな農地が多い中山間地域である。

農業用水は石神川水系に頼るが、水量が少なく、特に水路の保全活動に取り組んでいる。昨年度から向上活動も実施し、施設の長寿命化を図るため、重点的に

遊休農地に植えたソバを収穫し、ソバ打ち体験を行う都市農村交流活動も始め、高齢化の進む当地に若者の声がやまびこことなつて響き若返りをおぼえる。

農地の大部分を占める棚田で琴石山の恵みの水を用い育てた米は、大島大橋近くの直売所「うずしお 母さんの店」で棚田米として販売し、大変人気を集めている。

農道法面の整備や水路の改修をしている。2007年からは農地に景観作物の菜の花を植え、桜の開花時期にあわせ公民館活動と連携・実施しているウオークラリーが定着。